

シリーズ第3弾

「地域の福祉力 最前線」

– 互いが知恵を出し合う協議の場 –

地域での「生活のしづらさ」に気づき、共感し、
みんなで取り組む力—地域の福祉力—に注目する
シリーズ第3弾。
県内の地域福祉の“いま”をお伝えします。

地域の課題に向き合い、お互いの考え方と知恵を出し合う「協議の場」。何かを始めるとき、これまでを振り返るとき、住民座談会や懇談会といった場を設けることがあります。いつも活動にかかわっている人だけでなく、さまざまな立場や年齢の人たちが集い、考え、これからを語り合う「協議の場」は、新たな理解や協力を得るチャンスでもあります。

社会福祉協議会（以下、社協）では、地域のみなさんが「出会い」「協働し」「協議する」福祉のまちづくりを提唱しています。

今回は、香芝市西真美地区の活動を通して
「協議の場」について考えます。

みんなで考えると
地域の力がわいてくる



西真美住民座談会の様子

50人の参加者が6つの部屋に分かれて話し合った
誰かの意見に「へえ…」と気づかされたり、「わかるわかる」と頷いたり

新しい活動をはじめるとき、みなさんはどうされていますか。中心メンバーでどんどん進める手もありますが、行き詰ることも…。少し遠回りでも、多くの人を巻き込めば、突破できることは意外と多いものです。

その方法の一つとして、「協議の場」があらためて注目されています。身近な出来事を例に、気になる問題を伝え合うと、「これは放っておけない」という共感が生まれます。やがて「何かしてみよう」という大きな力になると言われています。

楽しさが人を呼ぶ

「活動をしていると、何だか体調が良くなるよね」「次から次へとみんなで工夫しているのが楽しい」、「ふれあい西真美」は、香芝市社協がすすめる地域福祉推進委員会^{*1}として、平成7年に発足したベテラン組織だ。年月が経つとさまざまな課題で少し疲れが出ることもある。しかし西真美で出会う人からは、苦労ではなく楽しさが伝わってくる。

活動の中心メンバーである寺泉さん、林さん、野口さんは、「私たちもいつかひとりの参加者になる日がある、その時に楽しい場があったら嬉しいでしょうね」と言う。そんな前向きの思いは、「芋づる式」で人を呼び、今では100名を超えるボランティア仲間がいるという。



野口さん



林さん



寺泉さん

世代を超えて広がる活動

3代目会長の木藤さんにこれまでを振り返ってもらうと、課題が見えたとき「できない理由ではなく、どうしたらできるかをみんなで考えてきた」歴史を感じる。

「発足当初は、基本プログラムの昼食会やサロンを行ってきたけれど、地域では、高齢者だけの特別なものという印象があった。だったら、世代を広げていこうと10周年を機に、年越し蕷麦サロンを始めてみた。」これが好評で、季節ごとにそうめんサロンなど、世代交流の企画が増え、携わる人も理解も自然と広がっていったという。



夏の風物詩 そうめんサロン
子どもからお年寄りまで、流しそうめんに夢中
世代を超えて地域に根付いている



木藤会長

もう一度みんなで話し合おう

新たなチャレンジとして住民座談会を企画したのは2年前。いろいろな立場の人が集い、「暮らしの問題を語り合い、私たちで何ができるか考えたい」との想いからだった。自治会やふれあい西真美を中心に、市社協の協力を得ながら準備をすすめ、約50名の住民がちいき西真美の課題について話し合った。

準備も進行も住民で行った座談会は、大いに盛り上がった。「災害が起こったら隣近所で助け合えるだろうか」「夫婦ふたりで元気だけど、この先が心配」「近所で介護をされていたことを知らなかった。何かできることがあったのでは…」「このまちが好きだから、これからも近所づきあいを大切にしたい」。お年寄りから子育て世代まで、いろいろな意見が出され、「何とかしていこう」という気持ちが高まった。2回目の座談会では、テーマごとに解決策を考え、積極的な提案もあった。

新たなステージへ

あれから2年、座談会をきっかけに、自治会と協力してさまざまな取り組みが始まっている。「反射板付のたすき」を配布すると、防犯等だけでなく自然なあいさつが生まれた。また、新たに友愛西真美として日常的な見守り活動が始まり、今後は自主防災会の活動と連携し、災害時の体制づくりにもつながっていくという。普段何気なく感じていることを互いに伝え合う「協議の場」は、あらためてちいき西真美と向き合い、新たな取り組みや連携を生むきっかけになったようだ。

皆さんに活動への思いを聞くとこんな答えが返ってきた。「私たちはここを終の棲家だと思っている。地域のつながりがあれば、きっとここで安心して暮らしていく。そのためいろいろな工夫をしていきたい。」西真美では、今日も地域の力が育まれている。



身近なパートナー
香芝市社協の甲本さん

*1. 地域福祉推進委員会/香芝市社協が指定する小地域(おおむね自治会)を単位とする住民の自主組織として、地域福祉についての住民理解をすすめながら事業の企画や調整、サロン等の活動を行っている。